

### 広島県鉄構工業会

## 青年部会長に光村氏

広島県鉄構工業会青年部会は21日、広島市で第33回通常総会を開催、約20人が参加した。総会では役員改選が行われ、新部会長にミツヤ工業の光村圭介氏務取締役が就任、遠藤健太郎会長（遠藤工業専務）は顧問に就いた。冒頭、遠藤部会長は「皆さまの協力があり、昨年は日本建築構造技術者協会（JSCA）中国支部の青年部との意見交換会を頻繁に行い、今年からは技術委員会とも意見交換会が始まるなど、多くの活動ができた。他地区青年部会との横のつながりもできている。

山本理事長



引き続き、皆さまには積極的な参加をお願いしたい」とあいさつした。続いて、広島県鉄構工業会の山本泰徳理事長（フステントス社長）が「今後も組合全体で青年部会の活動を応援していきたい。構造設計者と施工者にはそれぞれ役割がある。お互いに理解を深めていく

ことで、より良い業界を築いてもらいたい」と祝辞を述べた。議案審議では2023年度の事業報告や24年度の事業計画案などが承認された。昨年は3社から4人が新たに入会し、会員数は28人となった。

閉会のあいさつは光村新部会長が務め「業界に残る古い商習慣の見直し、他地区青年部会との交流、技術だけでなく経営に関する勉強会の開催など、積極的に取り組んでいきたい。皆さまで楽しめるような企画も用意し



光村新部会長

ていきたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いしたい」と意気込みを語った。